

2 結果の概要

2.1 関心のある環境の状況の範囲

「環境の状況について考えるとき、どのような地域・範囲について気になるか」については、「居住地の市区町村レベル」が気になるとの回答が昨年度に続きと最も多く、44.6%から46.8%に増加している。「居住地の市区町村よりも狭い範囲（家のまわり）」、「居住地の市区町村レベル」では昨年度から増加しているのに対し、「居住地の都道府県レベル」、「国レベル」、「地球レベル」では減少している。

半数を超える選択肢はなく、一方で、「その他」を除くいずれの選択肢も25%を超えている。

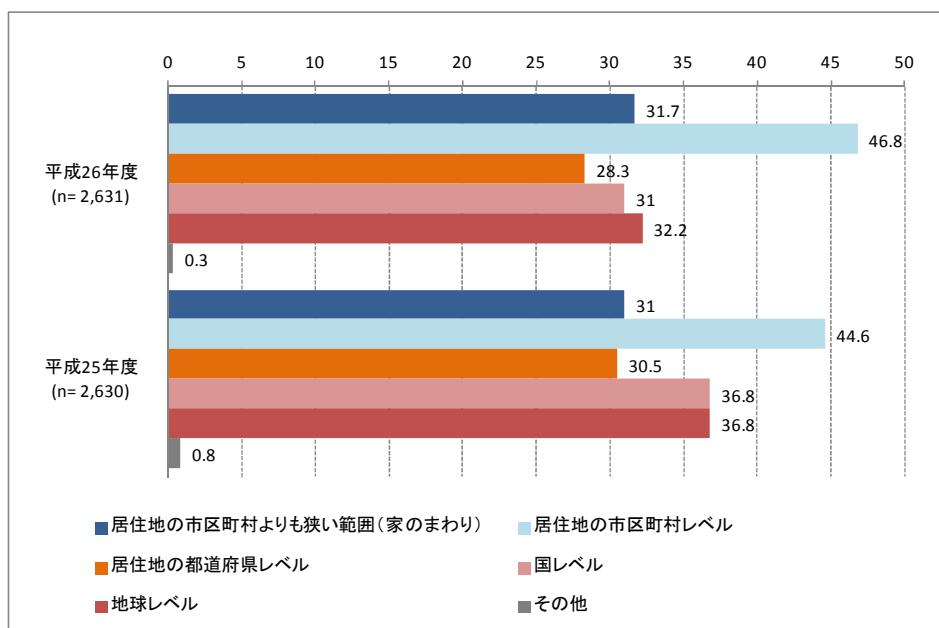


図 1 環境の状況を考える上で気になる地域・範囲

年代別で見ると、どの世代も居住地の市区町村レベルと回答している。20歳代から50歳代は地球レベルよりも居住地の市区町村よりも狭い範囲（家のまわり）と回答している人の割合が多いが、60歳代以上は居住地の市区町村よりも狭い範囲（家のまわり）よりも地球レベルと回答している人の割合が多い。

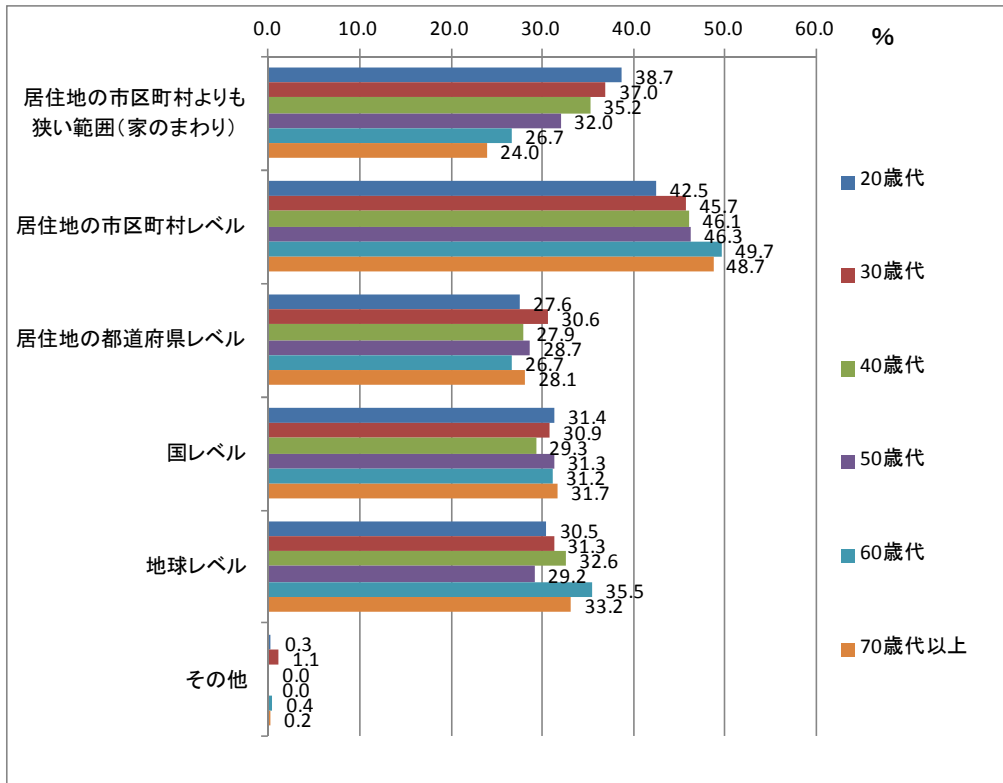


図 2 環境の状況を考える上で気になる地域・範囲（年代別）